

凡 例

- 1 この要覧（平成 29 年度版）の資料は、大半が平成 28 年又は平成 28 年度の近畿各都市の事実についての統計資料を収録したもので、その調査時期は各表の頭注とした。ただし、資料の関係により、また市の事情により近似時点によるものもある。
- 2 資料はすべて各市から一定の様式により報告を受けたものであるが、調査の方法に若干異なるものもある。
- 3 市は 111 市である。市域はすべて平成 29 年 10 月 1 日現在の市域による。
- 4 統計表の一般的説明（調査の方法、用語の説明等）は頭注とし、市について注記を必要とする事項は脚注とした。
- 5 各数値は原則として単位未満を四捨五入とした。
- 6 各種の符号用法は次のとおりである。

- 0 ……………数字が単位未満のもの
- ……………皆無又は該当数字がないもの
- … ……………不詳、不明、不定及び算出不能のもの
- X ……………発表を差し控えたもの
- △ ……………減